

# Discover

大分三愛メディカルセンター 消化器病・内視鏡センター 医療連携機関向け広報誌

2021 vol.02



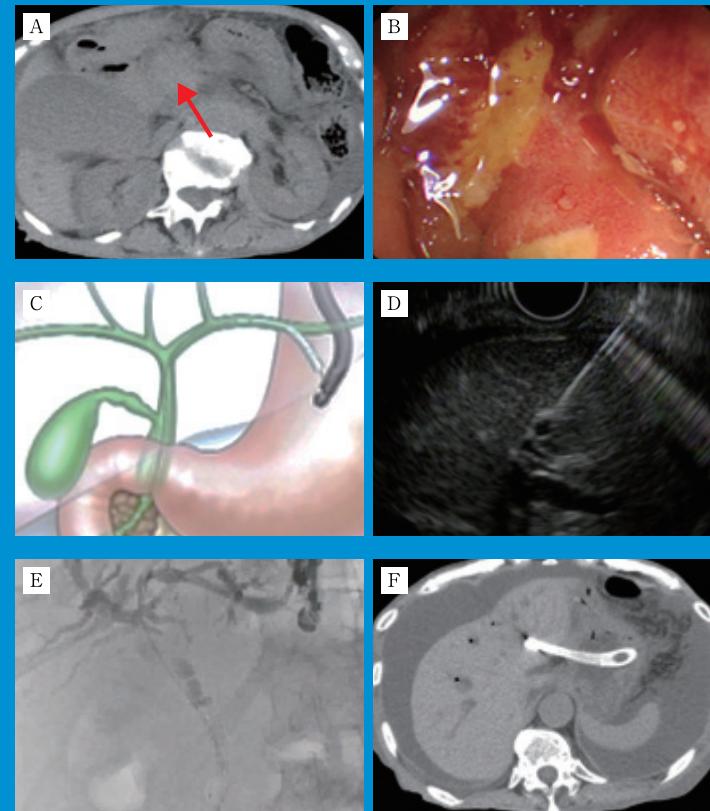
新型コロナウイルスに悩まされた2020年度が終わり、心新たに新年度を迎えます。未だ感染症対策を念頭に置いた上での診療体制は続いますが、大分三愛メディカルセンターでは、地域の医療機関としての役割を忘ることなく、検査・治療に邁進しております。

コロナウイルス対策から生まれた本誌も、引き続き季刊発行を続けて参ります。今回の内容は超音波ガイド下瘻孔形成術(EUS-HGS)です。「消化器病・内視鏡センター」の看板の通り、内視鏡検査・治療には拘りをもって取り組んでおり、2020年は約7,000件以上に上りました。これもひとえに先生方のご支援の賜物です。今後も最適な治療選択を行いつつ、地域の医療に貢献して参りたいと存じます。

大分三愛メディカルセンター  
消化器病・内視鏡センター長 錦織 英史

## Discover

# ERCP困難症例に対する超音波内視鏡ガイド 下瘻孔形成術 EUS-HGS: 胃肝内胆管瘻孔形成術 (EHL; electrohydraulic lithotripsy)



- A CTで脾頭部に腫瘍を認める(矢印)
- B 十二指腸に脾癌が浸潤しており、胆管開口部が視認できない。
- C EUS-HGS模式図。右肝内胆管と胃内を吻合し、ドレナージを行う。
- D EUSでリアルタイムに血流動態を確認しながら肝内胆管を穿刺する。
- E 透視下に順行性ステント(中部胆管から十二指腸内)とHGS(肝内胆管から胃内)を留置する。
- F メタリックステント留置後のCT

[79歳代・女性]

閉塞性黄疸、発熱を主訴に来院、腹部造影CTで脾頭部癌、癌性腹水を指摘された。上部消化管内視鏡検査では十二指腸、乳頭部に癌浸潤を認め、ERCPによるドレナージが施行不能な状況であったため、EUS-HGSを選択した。超音波内視鏡(EUS)で胃内から右肝内胆管を穿刺し、胆汁の逆流を確認後、造影剤を注入した。ガイドワイヤを肝内胆管→肝門部→十二指腸まで順行性に誘導し、中部～下部胆管狭窄部に順行性メタリックステントを留置、その後右肝内胆管と胃壁の瘻孔部を拡張し、メタリックステントで吻合した(EUS-HGS)。経口摂取開始は3日目から、1週間後にはT-bil 22→4.2 mg/dlまで改善し退院となった。総手技時間は30分程度であった。患者様はその後、胆管炎の再発なくご自宅で過ごすことが可能であった。

【適応/ERCPによるドレナージが困難な閉塞性黄疸全般】  
利点/経皮経肝ドレナージと違い、内瘻で完結するため、QOLが保たれる。保険収載手技であり、経験の多い施設では手技成功率、奏効率が高く手技時間が短い。  
ERCPと違い脾炎合併症のリスクが低い。

## 今回の機器

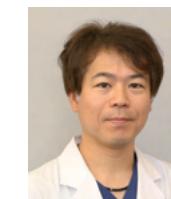


【主な使用デバイス】  
内視鏡/GF-UCT260 Olympus  
超音波機材/ALOKA Prosound F75 ALOKA  
金属ステント/Niti-S biliary covered stent, Century  
拡張ダイレータ/胆管拡張バルーンRENカネカ

## 消化器内科医師のご紹介

当院は指導施設および関連施設に認定されています。

指導施設認定:日本消化器内視鏡学会、日本胆道学会、日本脾臓学会  
関連施設認定:日本消化器病学会



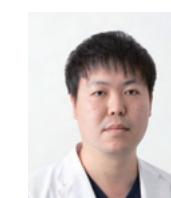
消化器病  
内視鏡センター長  
**錦織 英史**  
大分大学卒(2004年)  
【専門分野】  
消化器内科(内視鏡)  
胆脾内科

【認定資格】  
日本消化器内視鏡学会  
専門医・指導医・九州支部評議員  
日本脾臓学会 認定指導医  
日本胆道学会認定指導医  
日本消化器病学会専門医  
日本内科学会 認定内科医  
日本医師会 認定産業医  
大分大学医学部臨床准教授



消化器内科部長  
**佐上 亮太**  
防衛医科大学卒(2010年)  
【専門分野】  
消化器内科(内視鏡)  
胆脾内科

【認定資格】  
日本内科学会 認定内科医  
日本消化器病学会 専門医  
日本消化器内視鏡学会 専門医



消化器内科医師  
**佐藤 孝生**  
大分大学卒(2012年)  
【専門分野】  
消化器内科

【認定資格】  
日本内科学会 認定内科医  
日本消化器病学会 専門医

## ご紹介連絡先

**大分三愛メディカルセンター**

地域連携センター TEL.097-542-7404

〒870-1151  
大分市大字市1213番地  
TEL.097-541-1311  
[www.san-ai-group.org](http://www.san-ai-group.org)

